

(本日の聖書箇所)

- ヨシュア記 2.01 ヌンの子ヨシュアは、シティムからひそかにふたりの者を斥候として遣わして、言った。「行って、あの地とエリコを偵察しなさい。」
彼らは行って、ラハブという名の遊女の家に入り、そこに泊まった。
2.02 エリコの王に、「今、イスラエル人のある者たちが、今夜この地を探るために、入って来ました」と告げる者があったので、
2.03 エリコの王はラハブのところに人をやって言った。「あなたのところに来て、あなたの家に入った者たちを連れ出しなさい。
その者たちは、この地のすべてを探るために来たのだから。」
2.04 ところが、この女はそのふたりの人をかくまって、こう言った。「その人たちは私のところに来ました。しかし、私は
その人たちがどこから来たのか知りませんでした。
2.05 その人たちは、暗くなって、門が閉じられるころ、出て行きました。その人たちがどこへ行ったのか存じません。急いで彼らの
あとを追ってごらんください。追いつけるでしょう。」
2.06 彼女はふたりを屋上に連れて行き、屋上に並べてあった亜麻の茎の中に隠していたのである。
2.07 彼らはその人たちのあとを追って、ヨルダン川の道を渡し場へ向かった。彼らがあとを追って出て行くと、門はすぐ
閉じられた。

(物語の結末)

- ヨシュア 6.22 ヨシュアはこの地を偵察したふたりの者に言った。「あなたがたがあの遊女に誓ったとおり、あの女の家に行って、
その女とその女に属するすべての者を連れ出しなさい。」
6.23 斥候になったその若者たちは、行って、ラハブとその父、母、兄弟、そのほか彼女に属するすべての者を連れ出し、
また、彼女の親族をみな連れ出して、イスラエルの宿営の外にとどめておいた。
6.24 彼らは町とその中のすべてのものを火で焼いた。ただ銀、金、および青銅の器、鉄の器は、主の宮の宝物倉に納めた。
6.25 しかし、遊女ラハブとその父の家族と彼女に属するすべての者とは、ヨシュアが生かしておいたので、ラハブは
イスラエルの中に住んだ。今日もそうである。これは、ヨシュアがエリコを偵察させるために遣わした使者たちを、
ラハブがかくまったからである。

(関連聖書箇所)

- 申命記 23.18 どんな誓願のためでも、遊女のもうけや犬のかせぎをあなたの神、主の家に持って行ってはならない。これはどちらも、
あなたの神、主の忌みきらわれるものである
申命記 5.18 姦淫してはならない。
ホセア 4.14 わたしは、あなたがたの娘が姦淫をしても罰しない。また、あなたがたの嫁が姦通をしても罰しない。それは男たちが
遊女とともに離れ去り、神殿娼婦とともにいけにえをささげているからだ。悟りのない民は踏みつけられる。
ヨハネ 8.04 イエスに言った。「先生。この女は姦淫の現場でつかまえたのです。
* * * * *
マタイ 1.05 サルモンに、ラハブによってボアズが生まれ、ボアズに、ルツによってオベデが生まれ、オベデにエッサイが生まれ、
へブル 11.31 信仰によって、遊女ラハブは、偵察に来た人たちを穏やかに受け入れたので、不従順な人たちといっしょに
滅びることを免れました。
ヤコブ 2.25 同様に、遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したため、その行ないによって義と認められた
ではありませんか。

